

紙飛行機 遠くまで長く飛べ

尾張旭 三郷小で3年ぶりイベント

紙飛行機の飛距離や滞空時間を競う児童たち―尾張旭市の三郷小で



イベントを実施しているが、コロナ禍で三年ぶりの開催となった。

児童たちはそれぞれ好きな形の紙飛行機を制作。一人ずつ跳び箱の上から愛機を二回飛ばし、飛距離と滞空時間を競った。一二・八日で最長記録を打ち立てた三年の松尾光紗さん（かづさ）は、飛行機の翼に自分の名前と「最強」の文字を記入。「長く飛ぶようまっすぐ飛ばした。一番遠くまで飛ばせてとでもうれしかった」と話した。

表彰式もあり、入賞者には丸太を切って作った金銀銅メダル、参加者にも日付の入ったメダルが贈られた。

（平木友見子）

尾張旭市の三郷小学校で十一日、紙飛行機を作って飛距離などを競うイベント「紙ひこうき飛ばそ!!」があり、一―五年の児童約四十人が参加した。

PTAや元PTAの父親たちが集まり、校舎の営繕や交流企画などを行う「だんご会」が主催。毎年この

4

4
目
0:20

信
中
いて

します。

ソー
消毒
の
ます。
ド。マ
マスク